

| 名称 | 製塩工場 | Salt manufacture work place |
|---|--------------|---|
| <p>モデルとなったのは2018年度下半期の朝ドラ「まんぷく」のイメージボードです。ドラマでは大阪府南部の海辺で海の水を汲み上げて塩を作っていました。ネットで調べてみると、ドラマでの製塩は流化式の製塩のようです。</p> <p>地盤に傾斜を付け、その上に粘土またはビニールを敷き、さらに小砂利を敷いた流下盤と、柱に竹の小枝を階段状につるした枝条架からなり、ポンプで海水を汲み揚げ、第一流下盤・第二流下盤・枝条架の順に流して、太陽熱と風で水分を蒸発させます。この工程を鉄板で代用していたようです。</p> <p>これを何度も繰り返すことで、海水が濃縮されます。</p> <p>またドラマでは濃縮された海水は窯で火にかけ水分を飛ばして塩にしていました。作品では社員が寝泊まりする宿舎・作業場・窯を再現しています。</p>  | | <p>NHK朝ドラ「まんぷく」より</p>   |
| 所在地 | 兵庫県南あわじ市阿万吹上 | Japan Minamiawaji-city, Hyogo.pref |
| <p>朝ドラ「まんぷく」の製塩風景は、南あわじ市阿万吹上町の海岸で撮影されました。とても景色のよい海岸で、今まで幾度かドラマや映画の撮影地として利用されてきました。オープニングで主人公の安藤さくらが歩いていた海岸もこの海岸です。</p> <p>美しい海岸ですが、外洋に面しており潮流が速く海水浴は禁止されています。</p>  <p>左下は堆砂垣 右下は自生する植物の紹介</p>   | |  <p>南あわじ市阿万地区は玉ねぎ・レタス・白菜・キャベツなど野菜作が非常に盛んで真冬でも農地は青々としています。</p> |